健診情報を利用した臨床研究について

虎の門病院付属健康管理センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、健診で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の健診情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】
調査対象となる期間：　2024 年 4 月　～　2025 年 3 月　の間に、人間ドックのために虎の門病院付属健康管理センターで、上部消化管内視鏡検査を受けた方。

【研究課題名】
高齢者の上部消化管内視鏡検査における有害事象の検討

【研究の目的・背景】
《目的》ご高齢のかたの内視鏡検査において発生した有害事象について解析を行うことで，ご高齢のかたがより安全に内視鏡検査を受けられるよう検討することを目的としています．
《研究に至る背景》
ご高齢のかたにおいてはしばしば上部消化管内視鏡検査が身体的ご負担となり、結果的に検査自体が不利益となってしまう場合があります。そこで私たちは、検査時の有害事象(気分不快、血圧低下、血中酸素飽和度低下、覚醒不良など)が、どのような方に起きやすいかを検討することにいたしました。その特徴を把握することで、より安全な内視鏡検査につなげたいと考えております。

【研究期間】
2025 年 10 月 31 日　～　2028 年 3 月 31 日

【個人情報の取り扱い】
お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。
また、本研究に関わる記録・資料は　虎の門病院付属健康管理センターにおいて研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する健診情報】
健診情報：　受診者背景、健診記録、内視鏡所見、薬歴、看護記録

【虎の門病院付属健康管理センターにおける研究責任者・研究機関の長】
研究責任者：虎の門病院付属健康管理センター　・　本田　律子
研究機関の長：センター長　・　本田　律子

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】
本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び健診情報の使用を希望しない場合】
本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の健診情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。
また、ご自身の健診情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、　2026年１月31日　までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も健診など病院サービスにおいて受診者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】
虎の門病院付属健康管理センター　・　柳内　綾子
電話　03-3588-1111(代表)